

## 終業日（7月22日）

今年度が始まってから4か月近くが過ぎようとしています。新しい義務教育学校としての取組，そして「ポストコロナ」を見据えた取組を通じて，年間を見据えて子供たちのリーダーシップ・フォロワーシップを育むことを目指してきました。

この4か月，上手くいかないことや課題に突き当たることも多々あったかと思いますが，その都度「人・もの・こと」に向き合うことにより，自分たちで解決し，乗り越えるたくましさも随所に見られました。

夏休み明けには，子供たちが個人としての自信を一層深め，集団を支え，集団に支えられていることを実感することで，子供たち一人一人の「居場所」が確かなものとなり，よりよい「協働」の姿がさらにたくさん見られるよう教職員一同力を尽くして参ります。

また，「PTAプロジェクト」を始めとして，たくさんの保護者の皆様が学校の活動に参画してくださいました。本校の活動を応援し，支えてくださっている多くの方がそばにすることで，子供たちはもとより私たちにとっても大きな励みとなりました。ありがとうございます。

夏休み明け，子供たちの笑顔に再び出会えることを楽しみにしています。



終業日の荷物は重たいですね・・・  
でも，がんばって運んでいました！！

## 常呂みどりの学校～6年生（7月22日）

6年生が「常呂みどりの学校」に旅立ちました！！

活動の様子は，本校ホームページから専用ブログにてご覧いただけます。ぜひのぞいてみてください！



これまでに載せきれなかった活動の様子を掲載します！！

## 北国タイム②（7月15日）



社会福祉協議会の方々に「ポッチャ」を教わりました



中央図書館の方に、本にカバーを付ける作業を  
教えてもらっています

# なつのふしょうのもり～1年生（7月21日）

雨模様の日が多かった7月ですが、この日は見事な青空！！子供たちの歓声も日に日に大きくなり、活動もどんどんパワーアップしているようです。

たくさんの保護者の方々が子供たちの様子を見守ってくださいました。ありがとうございます。



★「春採湖しまえなが物語」読み聞かせの様子が紹介されました

春採湖で巣守り、家族築く姿 絵本に  
**シマエナガ 命の輝き**

写真家・山本さんから制作 市内の全小学校に寄贈

網走市の自然写真家山本光一さん（56）が、釧路市に住むシマエナガをテーマにした絵本『採いまえなが物語』を制作し、春採湖の自然の豊かさを子どもたちに伝えることを目的として、市内の全小学校に寄贈した。7月17日（土）は春採湖に近い釧路市東区で、春採湖足運市民会館にて取材してもらった。

採いまえなが物語は、6月17日（土）に、春採湖で、シマエナガの巣を守り、家族を築く姿を描いた絵本。シマエナガの生態や、春採湖の自然の豊かさを伝えることを目的として、市内の全小学校に寄贈した。7月17日（土）は春採湖に近い釧路市東区で、春採湖足運市民会館にて取材してもらった。

採いまえなが物語は、6月17日（土）に、春採湖で、シマエナガの巣を守り、家族を築く姿を描いた絵本。シマエナガの生態や、春採湖の自然の豊かさを伝えることを目的として、市内の全小学校に寄贈した。7月17日（土）は春採湖に近い釧路市東区で、春採湖足運市民会館にて取材してもらった。

採いまえなが物語は、6月17日（土）に、春採湖で、シマエナガの巣を守り、家族を築く姿を描いた絵本。シマエナガの生態や、春採湖の自然の豊かさを伝えることを目的として、市内の全小学校に寄贈した。7月17日（土）は春採湖に近い釧路市東区で、春採湖足運市民会館にて取材してもらった。

(2022.07.17 北海道新聞)